

令和5年度投稿

俳句

(三月)

若人は 砂踏み諦めて 春を嗅ぐ

(仙巖園 きしよべ)

茶の泡や 揺らすはレールと 潮の音

(仙巖園 かねしま

はると)

ワンコイン 寂しなる冬 垣間見ゆ

(城山 なかむら)

城山に思う 影みる 秋の月

(城山 オムライスで

ロングブザービート)

城山公園 雨の中散策も 趣あるな

(城山 無記名)

庭園の 桜を彩る 桜島

(仙巖園 中川りさ)

城山や はるか彼方の 白煙

(城山 徳重裕武士)

桜島 霞かかりし 夢の色

(城山 月影ふあ)

錫瓦 ふりさけ 見れば 花曇り

(仙巖園 せいせい)

川柳

(三月)

不眠夜 柵飛び超える 桜島

(城山 オムライスで

ロングブザービト)

せごどんと さいごうどんは どっちがいい？

(城山 ヤブイヌ)

城山から 志士らも見た 永劫の海

(城山 石原豚木)

鹿児島に はるばる来たよ 西郷さん

(城山 徳重裕士)

息上がり 見上げる先は 桜島

(城山 月影ふあ)

短歌

(三月)

小旅行5人で 波打ち際歩く

あいつと2人で 歩きに来よう

(仙巖園 かねしまはると)

噴火かな 眺める噴煙 芝の上

すする鼻には 杉花粉かな

(仙巖園 なおピーマン)

初なのに 雨で見えない 桜島

桜の季節 心が濡れる

(仙巖園 ひろくん)

宇宙(そら)へ行く 輝く星の みちしるべ

見上げる君は 何を問うのか

(城山 月影ふあ)